

## 第 27 回中国地方ダム等管理フォローアップ委員会

### 坂根堰定期報告書の総括

- 「第 27 回中国地方ダム等管理フォローアップ委員会」において、「坂根堰定期報告書」の審議を行った。
- 審議は、「洪水の安全な流下、利水補給、堆砂、水質、生物、堰と地域との関わり」について、平成 24 年度から平成 28 年度までの期間を主な対象として行った。
- 「洪水の安全な流下」については、評価期間に計 2 回の全開操作を実施し、所期の機能を発揮している。今後も引き続き、適切に管理・運用し、流水の安全な流下を行われたい。
- 「利水補給」については、所期の機能を発揮し、受益地に大きな貢献をしている。今後も適切な管理・運用を行い、所要の利水補給を行われたい。
- 「堆砂」については、やや貯水池が洗掘傾向であるが問題は生じていない。今後も測量や粒度調査等を継続して実施し、堆砂状況や吉井川としての土砂動態の状況を把握されたい。
- 「水質」については、水質障害も発生しておらず大きな問題は生じていない。今後も調査の精度管理に留意しながら引き続き調査を行われたい。
- 「生物」については、生息・生育環境に大きな変化は見られていない。今後も調査を継続し、動植物の生息・生育環境の把握に努められたい。また、地域と協働で実施している重要種の環境保全対策は一定の成果を上げており、今後も継続されたい。なお、環境保全対策の一つである魚道は、調査により改善方策の抽出ができています。今後はこれまでの知見を活用し、設置効果の向上に取り組まれたい。
- 「堰と地域との関わり」については、坂根堰の治水や利水に対する地域への貢献について歴史的な経緯も含めて広く地域に認知していただくような取り組みを行う必要がある。今後は、学校教育現場との連携などにより地域への情報発信について積極的に取り組まれたい。